

〔付

編〕

『新潟県神社寺院仏堂明細帳』

(部分)

寺泊町下桐所在 桐原石部神社御廟所明細帳

〔付
編〕

『新潟県神社寺院仏堂明細帳』部分

一、本編では『新潟県神社寺院仏堂明細帳』（以下『明細帳』）のう

ち、本報告書に直接関係した寺泊町下桐所在の相原石部神社二社分

と、和島村上桐所在の桐原石部神社分、計三社分を掲載した。

一、『明細帳』の記事等には、届出時の原文に加筆されている。

(一) 楷書体の記事は届出時の原文で「墨書」であるが、上桐所

在社の「祭神」の項までの「文」のみ「朱書」である。

(二) 行書体等の欄中・欄外の記事及び抹消線は「朱書・朱線」
で、一部「墨書」を混じえる。須田氏認印とともに、当時の
新潟県社寺掛での加筆・押印と思われる。

一、『明細帳』は現在、新潟県総務部県史編さん室の所蔵となつて
いる。

*二〇一八年十一月現在、新潟県総務監理部法務文書課の所蔵と
なつている（二〇一九年八月補記）。

新潟縣管下越後國三島郡下桐社主五社	
一祭神	日方寄日方命
一由緒	古村石部神社御廟所年用不詳
一境内	呼數並地種
一	官有地第壹種
一	田堅磐碰
一	田堅磐碰
一	田堅磐碰
一新潟縣管下越後國三島郡下桐社主五社	新潟縣管下越後國三島郡下桐社主五社
以上	
右之通相違無之假也	
明治十六年七月	五月原佐
	中島甚八
近藤晋作	高
桐寧	高
池田堅磐碰	高
新潟縣令永山盛輝殿	高

寺泊町下桐所在 桐原石部神社明細帳（一）

744

新潟縣官下越後
明治十七年一月三十日初註列

鳥郡下有九
都東接上都
西接中都

四

明治十六年七月

武子篇

原佐
七
五

寺泊町下桐所在 桐原石部神社明細帳 (二二)

○古老ノマ牌ニ云古ハ春秋二季ノ官參アリ春ノ祭日ハ三月十五日 <small>神社ノ祭日ノ傳有桐原神社秋ノ祭日ハ</small>

1550

○源龜雄ノ長歌二曰

1551

○金地 額一面	○表 三相原靈神ト聖ス裏ニ安政四月巳申仲夏往 位下藤原信親書トアリコハ當國村上主藤原信 藤原信親殿幕府老中 在萬中 寄附サレシ モノナリ
○石碑 一基	文久二年孟夏從五位下若狭守源朝臣 太清殿一筆 十一
一社 殿間數	
本社 間四尺 中央加不 間武間三尺	中殿 間四丈 中央加不 間武間
拜殿 中央武間三尺	鳥居 殿間九尺 中央二間
境内神社 三社 合併	内 首殿六尺 東大門 民有地第一種 官有地第一種
手草木薦九畠坪 神社 上合併	
祭神 御子 主命	
由緒 安政三年 七月十五日創立	
安政三年 以前此村時々疫病甚ガタニシ神	

1552

1553